

青年部定時総会開催

6月2日(土)16時から中小企業センター(中区尾上町)において第28回定時総会が開催された。司会の中塚幹事の定足数を満たしているとの報告により



田中会長の議事進行で始まった。過年度事業報告及び決算、本年度事業計画及び予算案は全会一致で承認された。規約の改正では50歳を超えても役員に就任できる道を開き、任期満了に伴う役員改選では副会長3人制を採用することで別表の通り承認され、議事は滞りなく終了した。来賓の岸部理事長は「全青会の役員は地区ブ



ロック長が全員理事となって全体で10人の構成になる。小泉氏が全青会理事・関プロ会長に就任したので神奈川としても盛り上げてもらうために補助金の上乗せをする。今年の組合の重点項目として5S運動の更なる推進、支部会活動の活発化、新規組合加入の促進の3点を掲げているので青年部としても積極的に事業協力をお願いしたい」と激励した。田中会長は「今年度は研修会を充実し、近県との交流会を企画している。例年夏に実施している地引網大会は西湘支部組合員に多大な負担をもたらしている今年度は9月に真鶴でバーベキュー大会の開催を検討している」と挨拶され、今年で青年部を卒業する小原清太氏に感謝の意を表明した。

総会後は関内駅近くの居酒屋で、青年部が最も重視する会員相互のコミュニケーションを図ることが行われ、大いに盛り上がった。参加者は25名だった。

役員会だより

6月28日(木)15時30分から組合事務所で開催された。

合同支部会の研修会は事業承継問題など話題に上がったが、今後の建築鉄骨を取り巻く鋼材や景気などの動向についてをテーマとし、講師の選定は経営対策委員長に一任することになった。



新役員一覧

会長	田中 聡	(有)田中工業所
全国・関プロ担当	小泉 学	(株)コイズミ
副会長	鈴木 昭典	佐原工業(株)
	柳川 宜満	(有)柳川鉄工所
	村岡 正樹	城南メタル(株)
会計	内藤 恵一	(有)内藤鉄工所
会計監査・幹事	中塚 昌秀	(株)キクシマ
	北條 功	北條鉄工(株)
幹事	佐々木秀行	(有)太陽工機製作所

全構協関東支部「建築鉄骨超音波検査技術者・建築鉄骨製品検査技術者学科講習会」開催

7月7日(土)に行われる学科試験の受験対策として毎年行われているこの講習会は関東支部により今年も埼玉建産連研修センター(さいたま市南区)において開催された。

6月8日(金)、6月9日(土)で開催された超音波検査技術者講習会は、鉄骨構造・鋼材・溶接の知識、品質管理の基本から超音波探傷の欠陥の評価と合否判定・実務上の問題点などをファブの製作責任者だった青木敏三及び検査会社の上平綱昭両講師が解説し、最期に模擬試験を実施した。受講者は58名だった。



6月15日(金)、6月16日(土)で開催された製品検査技術者講習会は、初日は鉄骨加工の解説や精度検査・測定方法の解説及び演習を羽石良一、青木敏三両講師が担当し、二日目は設計図等の見方や検査票の作成、最期に模擬試験とその解説をファブの製作責任者だった青野弘毅講師と今年から石井二三夫(石井鉄工所)、平良繁久(本間工業)両講師が加わり担当した。受講者は152名だった。



代表者人事 6月 株式会社小原鉄工所(横須賀市内川) 小原 清太氏 (小原末男氏は会長に)

## 鉄骨加工業概論・工場見学の実施

6月5日(火)午後、今年で9回目となる日本溶接構造専門学校(津市)の鉄骨加工業概論の一環である工場見学が岸本建設工業で実施された。石井・小原・岸部各氏の講師陣と生徒8名に引率の先生のほか全構協から2名が参加した。第3者検査を想定した模擬検査の演習を行い、打合せや原寸検査、外観検査での対応、CADでの寸法確認などの講義を行った後、空調服を着用して現場に出て、岸本建設工業の5名の担当者が分担して行った寸法測定、入熱パス間温度・膜厚・開先・材質・粗さの検査測定状況を熱心に見学した。その後会議室に戻り、社



外検査での注意点などを説明した。17時過ぎに恒例の飲み会を寒川で開催し大いに親交を結ぶことができた

## 青年部の横顔

No. 7



(株)キクシマ

鉄工部マネージャー 中塚 昌秀

横浜市港南区港南台4-38-1

TEL 045-833-3935

FAX 045-831-6294

E-mail

nakatsuka@kikushima.co.jp

当社は、創業者が個人事業として始めた建築金物製作取付業が、今では鋼構造物製作と総合建設業という2つの事業を主体とした会社となりました。近年建築家との「こだわりの家造り」のもと、難易度の高い物件を製作・施工と「真心と技術」でお応えし、確かな品質づくりに精進してまいりました。また、3年前には長野県のHグレード工場が、当社のグループ会社となり、社員交換研修やそれぞれの工場で見習うべき点を取入れ、改善と技術の向上に取り組んでいます。

青年部の活動では、同業の仲間が増えることにより色々な情報が得られるため勉強になり、また、仕事に役立つことが沢山聞けるため仕事に対して違った角度から考えられるようになって仕事の取り組み方の幅が増えました。組合活動から得た情報をみんなで共有できるように勉強会などの活動と、青年部で取り組んだ5S活動に力を入れていこうと思います。

## F abを訪ねて[移転編]

地域に根付いた顧客を開拓し、その信頼に応えていく。

### 株式会社日向鐵工

千葉県木更津市高柳4877-1

代表者 日向 仁 TEL 0438(38)4501 fax 0438(38)4502

Eメール jin@hyuga-tekkou.co.jp

移転前の鎌倉市寺分の工場は、JR東日本の広大な旧工場跡地と鎌倉市有地を中心とする深沢地区全体整備計画が10年前から具体的に動き出し、その結果移転せざるを得なくなった。移転先を探っていたところ5年前にリーマンショック後廃業したMグレード工場を勧められて木更津に進出した。2年前から製作の主体を木更津に移している。ここは寺分に比べて工場は広いがヤードが狭い。周りは田畑が多く、地権者の理解が得られれば拡充が可能なので今後はヤードの確保を目指している。メリットは都内への搬出が意外と便利で、横浜からも東京湾アクアラインを経由すれば1時間弱で到達する。この地域の鉄工所は土地柄新日鉄の配管、架台等の仕事を請け負っている比較的小さな業者が多いが、Hグレード工場もあり、地域的に友好的な関係を築きつつある。従前から大手ハウスメーカーとの関係が深い。社長は「この地に来て新しい顧客の開拓にも力を注いでいく」また、「人の確保が課題であり、外国人も積極的に受け入れていくが、その教育に頭を悩ませている」と語られた。平成27年に寺分の工場はMグレードに昇格しているが、木更津工場のMグレード取得が喫緊の課題となっている。



### データファイル

創業	昭和44年4月1日
法人設立	昭和50年10月 日
資本金	1,000万円
従業員数	15名
加工能力	年1,000トン
工場敷地	1,841 m <sup>2</sup>
工場面積	533 m <sup>2</sup>
事業内容	鋼構造物工事 建築工事
主取引先	大和ハウス、木下工務店など
主な実績	セントラル自動車技研、綱島駅前全体ビル、下沼部小学校、leap medicalほか